

議会報告会報告書

開催日時	平成29年11月9日（木）午後7時00分 終了：午後8時29分	
開催場所	出城公民館	
対象団体	出城地区振興協議会	
参加人数	52人	
班構成	B班	中野 進、安実隆直、永井徹史、北嶋章光、村本一則、宮岸美苗 西川寿夫
役割分担	挨拶：西川寿夫、司会：宮岸美苗 報告：当初予算／村本一則、議会改革／村本一則、総務企画／中野 進 文教福祉／安実隆直、産業建設／北嶋章光、特別委員会／永井徹史	

（質問1）

ふるさと納税はどれぐらいの額になっているのか。人件費が昨年度より3億円少なくなっているが、どのような理由なのか。

（答 弁）

昨年度は約1700人から、約5千万円の寄附をいただいた。今年はもう少し多いと思っている。人件費は、合併後の職員が多かったこともあり、若い人の採用をしていなかったが、今は退職される人も多いため少なくなっている。

（質問2）

まちづくり会議の中で、協議会を設置して地域振興をしていきたいという話があった。地域の活性化のために何かやりたいと市に言えば、市はそれに対し予算付けし、協議会がその予算もらって行うのか。

（答 弁）

他県の市町では、公民館単位で地区の重要課題に優先順位を決め、一括交付金制度を導入しながらまちづくりや地域振興を図っているところがある。白山市では一律の対応ということにはならないと思うが、方向性としてはそういうところが主体となって、一緒にまちづくりをしていくと理解していただきたい。

（質問3）

市民の安全・安心ということで、松任でも大きな火災があった。消火栓等もしっかりしているが、七ヶ用水の停水時に火災等が発生したときはどのように対処していくのか。

（答 弁）

七ヶ用水の主は農業用水だが、生活用水や環境用水、そして年中通しての防火の役割を担っている。もちろん各集落にも防火水槽や消火栓等も整備されているが、市としても七ヶ用水を使いながらしっかり水を蓄える消火水利を確保しておくことが大事になる。

（質問4）

七ヶ用水に架かっている橋が地域によってしっかり防護柵が2重になっているところもあれば、子供が通るところに限って防護柵が悪いところがある。子供たちが遊んでいて落ちないとも限らないので、修理をお願いしたい。

(答 弁)

七ヶ用水はもともと田んぼの中を走っていた用水で、開発によって団地や工場ができ、また通学路になるなど非常に状況が変わってきている。各小学校では毎年危険個所の見回りをPTAと一緒にしており、その中でフェンスが壊れているなどの要望を地区のほうから上げていただきたい。

(質問5)

横江町で建設予定の金沢専門職大学はどのぐらいの規模になるのか。

(答 弁)

初年度の定員は40人で、4年生の大学なので途中の編入も含めて最終的には200人弱ぐらいになる。県外から4割の入学を見込んでおり、市内に住んでもらえることを期待している。

(質問6)

確かな学力の形成と豊かな心の育成で、例えば1日3時間以上テレビ等を見る小学生の割合が多いため、生活習慣の改善を促すと書いてある。単純に考えてこれは家庭の問題であって、議会でこのような話し合いがあるということは何か取り組みを考えているのか。

(答 弁)

確かにテレビを見る、見ないは家庭の問題であると思うが、教育委員会としてもこの調査結果を基に生活習慣の改善を促していく取り組みをしていくことだと思う。

(質問7)

こういうことが上がっているということは、積極的に施策とかを考えていることがあるのかと思い質問した。

(答 弁)

改善に取り組んでいく必要があるのは間違いのないため、市や教育委員会、家庭と一緒になって取り組んでいくことが必要だと思う。

(質問8)

今年は白山開山1300年ということで、いろいろなイベントを実施していたが、道の駅めぐみ白山はジオパークとの関連性を考えて運営していくのか。

(答 弁)

ジオパークとの関連としては白山を眺望できる視点場を含めて、白山からの恩恵を受けた地場で採れた商品を販売していくことにしている。ジオパークにしがみついたものではないが、運営する第三セクターの駅長がいろいろ知恵を出して、どのように改革、運営していくのが大事だと思っている。

(質問9)

もちろん水の恩恵は受けているが、白山はちょっと遠いという意識がある。この辺の人にも、もっとうまくPRをすればいろんな面で活性化できると思うので、そういうことも考えて進めてほしい。

(答 弁)

ジオパークは単に白山や百万貫の岩がある、水が沸いているだけでなく歴史と育まれた文化があり、そこで我々が生活している。そういう意味では非常に広がりを持つものだと思っている。そういったものを道の駅めぐみ白山に生かせる工夫を議会としても考え、皆さんからもアイデアをいただきたい。

(質問10)

空き家対策の推進で、危険な空き家の撤去が協議されているようだが、使える空き家を市外の人への受け入れに利用する話も聞いている。今はどのような状況なのか。

(答 弁)

空き家バンク制度を立ち上げ、初めは白山ろく地域だけが対象だったが、今は市内全域に広がっている。ただ、財産権があり、不動産のやりとり等でなかなか進まないこともあった。市や議会も、広く皆さんに知っていただき、活用していくことを考えている。

(質問11)

この沿線に人口が増えれば駅の話も復活し、その駅が起点となって活性化していくと思う。今、車両所を活用した観光振興に関することを言っているが、最後はやはり駅が必要になると思うが、駅については断念したのか。

(答 弁)

最後のハードルであるJR西日本が、採算が合わないので駅は造らないという決定をした。人口が増えたから白山駅を復活して造ってほしいと言っても、レールが通った後に造るということは非常にお金がかかるので、白山市の財政的にはまず不可能だと思う。

(質問12)

白山総合車両所と金沢駅の間を新幹線が行ったり来たりする。博多はそれにお客を乗せていた。それを真似て出入りする車両を使って駅を造れば、博多と一緒にするのはないか。

(答 弁)

最初は車両所に駅をとということで陳情していた。しかし、新幹線が金沢止まりではなく、西に延伸することになり条件が博多と違う形になった。今は観光客が金沢駅で降りずに、特別列車としてそのまま車両所まで来て見学できるようにしていけば、将来ひょっとしてということになるかもしれないが、そのためには多くの人に来ていただく必要がある。

備 考	
-----	--